

事業所職員向け児童発達支援自己評価表 集計結果

		チェック項目	はい	いいえ	無回答他	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	1		利用定員/日とスタッフ配置の比率を設けている。訓練室が外来と共有となりやりくりをする必要がある。
	2	職員の配置数は適切であるか	9	0		施設基準がクリアされている。
	3	生活空間は本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また障害の特性に応じて、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7	2		構造化されてないが、古い建物でできる範囲でのバリアフリー化や構造化に取り組んでいる。バリアフリー化はできていると思うが活動の部屋の物が多く構造化しにくさがある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動にあわせた空間となっているか	9	0		建物が古いので壁が汚い。壁に装飾をつけて工夫している。毎日の業者清掃とスタッフによる定期的な片付け、清掃を実施し、清潔を保つようにしている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	9	0		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し業務改善につなげているか	9	0		昨年度までは独自のCSアンケートを実施していたが、今年度からはガイドラインのものを活用。毎年保護者会(意見交換会)前には保護者アンケートを行い改良改善につなげている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	3		第三者評価の機会を設け、その中で自己評価、保護者評価について好評をしている。今後取り組む予定。
	8	第三者による外部評価を行い評価結果を業務改善につなげているか	9	0		外部評価の結果をふまえ職員で改善に向けての意見交換を行っている。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9	0		園内研修会や県外研修等を計画的に実施している きらりワークス等園内研修がある 県内外の研修に参加し、園内ではきらりワークスで共有する場がある
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	9	0		個別支援検討会前の園内カンファレンスにて各職種ごとのアセスメントを持ち寄って支援計画を練り上げている。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	1		適応行動尺度は未(行動評価はしている) 1人1人にあつたアセスメントツールを利用している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか	9	0		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9	0		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	0		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	0		
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	9	0		
	17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	0		朝のミーティングで確認、情報共有ができています

	18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	9	0		基本的には行っているが、できない日もある。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	1		状況の記録だけとなっていることがある。個の記録を書く時間を短縮しないと業務圧迫になるが、検証は時間がかかる。検証改善はしているが、必要なものが適切にできているかはわからない。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	9	0		
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9	0		参画についてはスタッフ全員で最もふさわしい者の出席ができるよういつも話し合っている。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	9	0		個別支援会議には各連携事業所スタッフも参加している。個別支援検討会で関わる施設すべてに声掛けを行っている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	9	0		就学、移行時は特に行っている。個別支援検討会では利用サービス事業所や訪問看護ステーション等関係する所へ声かけをし出席をお願いしている。又、相談支援事業所との連携をとりサービス調整等必要なニーズがあれば早く対応できるように関係者会議の開催をしている。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	9	0		保護者様を中心に連携をとることを意識しながら、時に担当者や園長(Dr)が連携をとることもある。
	25	移行支援として保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9	0		個別支援検討会に来てもらい情報共有を行っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9	0		引き継ぎやその後のフォローアップの機会を設けて共有を図っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8	1		連携しているが、助言を受けることはない。他の児童発達支援の見学をしてそれぞれの施設の機能、役割を知る機会を設けている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか	0	8	1	改めて考えるとない。感染症の問題がありできていない。地域との交流の場は夏祭り等で設けているが保育所等の同じ年齢の子が使う施設との交流を意図したものはない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	4	1	無い。 東部協議会へ担当者が出席している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	0		母子通所の日々の活動の中でタイムリーに行えている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	6	3		いわゆるペアトレではないが、保護者勉強会、親子通園を通して対応力促進に努めている。活動に同行していただき1つ1つの支援内容を伝えたり情報提供は行っているがプログラム化されたものは行っていない。 クラス会実施。 母子通所の日々の活動の中でそれぞれの特性にあった対応をタイムリーに伝えている。
	32	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	0		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	9	0		

保護者への説明責任等	34	定期的に保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9	0	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	9	0	クラス会やパパママ会を実施。H29年度よりパパママ会を開催し、H30年度は定期的に行うようにしている。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	0	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9	0	毎月の予定表を作成
	38	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	9	0	
	39	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	0	カード等を使った言葉以外の伝達手段を検討し対応している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7	2	園内行事への招待はおこなっている。又ボランティアを広く集めるようにしている。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに発生を想定した訓練を実施しているか	9	0	計画的に救急訓練等を行っている。
	42	非常災害の備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	0	月1回実施している。活動中で定期的に訓練を行っている。
	43	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	9	0	医療的な対応の必要性については定期的に保護者へ確認をとり内容は把握している。活動日は登園直後に検温を行い、体調確認をしている。適宜保護者様に声をかけ状況把握をしている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	9	0	主治医に確認したうえで給食提供をしている。給食希望があっても対応できないこともあるが状況によっては栄養士より献立表をもらって保護者様と一緒に食べられるもの、食べられないものを判断して提供することがある。おやつ配慮も行っている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9	0	
	46	虐待を防止するため、職員研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9	0	県が開催する研修会へ積極的に参加している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	7	1	1 事例が現在ない。 基本身体拘束は行われませんが、利用者の安全のためやむを得ない場合があれば保護者への十分な説明を行う上での基準を明らかにし個別支援計画に記載することになる。 現在該当するケースがない。